

Think Globally, Act Locally.

国分高校は、「Think Globally, Act Locally.」をモットーにして、ユネスコスクールの活動に取り組んでいる。2020年からのコロナ禍によって、多くの活動が縮小や中止を余儀なくされている。その中で、今年度取り組むことのできた活動を紹介したい。

1 市川市・楽山市友好都市締結 40 周年記念事業ビデオレター

2021 年は、市川市と楽山市が姉妹都市締結をしてから 40 周年にあたる年である。相互の訪問など人的な交流ができないため、市川市国際交流協会では市川市を紹介するビデオレターを作成し、楽山市が作成したものと交換することになった。協会から本校の学校生活を撮影したいとい



う依頼があり 2021 年 7~8 月に本校で撮影が行われた。部活動では、剣道部、華道部そして書道部の活動が紹介された。書道部では、楽山市出身で戦前市川市に在住した政治家で文人の郭沫若の詩を書写する場面が撮影された。そして、遼寧省出身の 1 年生女子生徒が中国語で説明した。また、ビデオレター冒頭のアナウンスとインタビューの応答は福建省出身の 2 年生男子生徒が中国語で行った。上の写真は、真ん中の中国人の生徒が両脇の日本人の生徒から質問を受けて

いる様子である。また、このビデオは 11 月中旬に市川市役所や市川市国際ラウンジで一般公開された。本校は、例年台湾への修学旅行を実施しているが、2020 年、2021 年とコロナ禍のため中止となった。そうした状況でも国際交流が出来ることを示せたのではないかと思う。

2 夏季寺子屋教室

地域に根ざした活動として、2021 年 7 月に本校の近隣の稲越小、曾谷小そして国分小で開催さ



れた「寺子屋教室」に 1~2 年の女子生徒 59 名が参加し、小学生の学習のお手伝いをしたことがあげられる。参加した生徒の一人は、「勉強を教えることはできても、それを理解してもらうことが難しいと感じました。途中で違う話をされたこともあり、どう説明したらわかりやすいのか、教師という職業に就くにはたくさんの努力が必要だと思いました。」という感想を書いている。

3 教科や総合学習での取り組み

3 年の家庭科の家庭基礎研究の 10 月下旬の授業で生徒達が近隣の乳幼児とその保護者と zoom で交流した。コロナ禍以前では、本校で生徒達と乳幼児が実際にふれあいながら交流をしていた。しかし、今年度は感染防止のため、上記のような形態で実施をした。

また、1 年の総合学習で 11 月中旬に海外で働いたことのある元企業人の方に来校していただき、生徒にその経験を語っていただいた。

その他にも 11 月には、全学年の各クラスでユネスコ係が中心となって、赤い羽根の共同募金活動を行い、市川市生活支援課に寄付した。

以上、今年度実施できた活動について書いた。現在も新型コロナウイルスの感染は続いているが、そのような状況でも実施できる活動にこれからも取り組んでいきたい。